

こんなことやっています！こんなところががんばっています！

地域おこし協力隊通信

マンダリンセンターでミカン狩り！

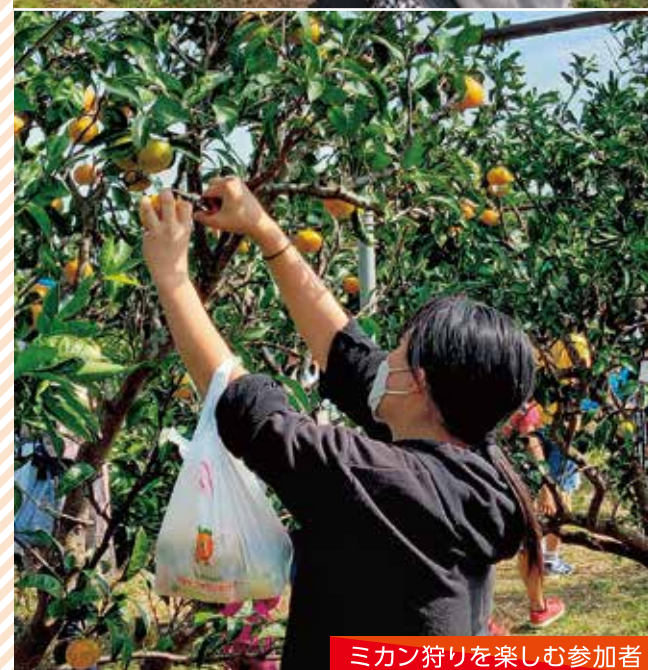
協力隊の山田周さんが企画する「もっと長島プロジェクト」が10月22日に行われました。今回は日本マンダリンセンターでミカン狩りが行われ、児童と保護者64人が参加しました。

マンダリンセンターに集合した参加者は、ミカンの建物の秘密などを聞いた後、ミカン狩りをするほ

場に移動し、指定管理者の山上博樹さんから、収穫の仕方やおいしいミカンを見分けるコツなどを教わり、ミカン狩りを楽しんでいました。

参加者からは、「長島で生まれ長く住んでいるが、マンダリンセンターでミカン狩りができることを知らなかった」「子どもと一緒に楽しめてよかった」「楽しく学びながらおいしいミカン狩りができた」などの感想が寄せられました。

山上さんは「マンダリンセンターに多くのかたが集まって、ミカンを味わってもらえてうれしい。今後、ミカンの木の植樹も行う予定なので、そのときにもぜひ参加してもらえれば」と話しました。



ミカン狩りを楽しむ参加者

充実した表情を見せる参加者



さつま町を視察しました！

協力隊の江副佑輔さんが10月3日と4日、さつま町を視察しました。

今回の視察では、「町の野良猫問題」「広報紙の情報交換」「さつま町の協力隊との交流」を行いました。

町の野良猫問題に関する視察では、動物愛護団体「くるみの森」の施設見学と、淀水聖子代表から活動の経緯、現状などを聞きました。

同団体とさつま町役場が連携する「さくらねこ」の取り組みでは、地域猫のTNR活動を取材。現場では江副さんも手伝いに参加し、取り組みを体験しました。

広報紙の情報交換では、さつま町の広報紙制作の体制などを取材し、長島町の広報紙にも通じる課題など、広報の在り方について改善意識を共有しました。

さつま町の地域おこし協力隊員との交流では、町が求めるミッションに対して、活動の中長期的な計画性や、地域理解と着実な成果について学びました。

江副さんは現在、北薩地域の協力隊員が交流する県の事業「北薩地域交流会」の企画・運営メンバーを務めており、交流会は11月22日に長島町内で実施されます。

TNRとは、Trap・Neuter・Return（トラップ・ニューター・リターン）を略した言葉で、捕獲器などで野良猫を捕獲（Trap）し、不妊・去勢手術（Neuter）を行い、元の場所に戻す（Return）ことで、不幸な猫が増えないための取り組みです。

12月末までの任期となる江副さんは「協力隊の横のつながりを結び、活動の連携や広がり、悩みの相談、北薩地域全体の地域おこしを活性化させる仕組みに貢献したい」と、最後の成果を残すための意気込みを語りました。

秋の有害鳥獣捕獲の報告とお知らせ！

協力隊の長谷川一総さんに最近の活動について話を聞きました。



長谷川一総さん（協力隊3年目）

秋は、冬に備えてイノシシなどが活発に行動を始める季節です。長島町では9月と10月で200頭近くのイノシシが捕獲されました。長谷川さんも狩猟免許を持っていて、捕獲作業を行っています。

長谷川さんは「今年度は捕獲頭数が増え、昨年度を上回ることができました。11月1日からは狩猟期間に入るため、山に入る際には事故に注意してほしい」と話しました。

長谷川さんは現在、長島町商工会でも活躍しています。11月23日に開催される「第6回ふれあい・ながしま軽トラ市」では、しし汁提供の手伝いと、ジビエの普及活動を行う予定ですので、ぜひ来場ください。